

Subject: 日本保健物理学会 新Newsletter 2016年8月24日号
From: 一般社団法人日本保健物理学会 <exec.off@jhps.or.jp>
Date: 2016/08/24 12:26
To: <exec.off@jhps.or.jp>

日本保健物理学会 新Newsletter 2016年8月24日号

1. 学会関連情報

○ホームページ更新 新着情報なし

2. 関連する研究動向

○Genetics August 1, 2016 広島・長崎生存者の研究：結果（事実）と一般的な見識間の相違
The Hiroshima/Nagasaki Survivor Studies: Discrepancies Between Results and General Perception
Jordan BR
<http://www.genetics.org/content/203/4/1505>

○Journal of Radiation Research (2016) Supplement ICRR highlights 甲状腺被ばく線量は双葉町、飯舘村、いわき市の住民で高いと評価 大半は30mSvより下。
Internal thyroid doses to Fukushima residents?estimation and issues remaining
Kim E et al
<http://jrr.oxfordjournals.org/content/57/S1/i118.full.pdf+html>

○労働安全衛生研究, Vol. 9, No. 2, pp. 1?12, (2016) 今後は、高線量の急性被曝た?けて?はなく、低線量の慢性被曝による健康影響を考慮に入れることが必要。

「緊急作業従事期間中の被曝線量管理の見直し」

前田光哉

https://www.jstage.jst.go.jp/article/josh/advpub/0/advpub_JOSH-2015-0025-CH0/article/-char/ja/

○放射線影響研究所（RERF）と国際放射線防護委員会（ICRP）の合同ワークショップ（10月9日、東京大学 本郷キャンパス工学部2号館）
遺伝的影響、DDREF、非がん影響についての最新情報について、RERFとICRPのTGメンバーがそれぞれ報告します。

今後の健康影響研究と放射線防護システムについての討論も行います。

参加ご希望の方は、lowdose@icrp.org (Haruyuki Ogino) に9月30日までにご連絡ください。定員200名。

学会関係者の皆様、ぜひご参加ください。（情報提供者 甲斐会長）

<http://www.icrp.org/docs/Joint%20RERF-ICRP%20Workshop%20Oct%202016%20First%20Announcement.pdf>

○ICRUの報告書作成委員会（RC28） 国際放射線単位測定委員会メンバーと日本の専門家によるワークショップ（9月12日、量研機構 千葉・稲毛）

現在、ICRUの報告書作成委員会（RC28）では、緊急時やその後の現存被ばく状態における公衆の放射線防護のためのモニタリングに係る報告書をまとめています。

報告書に東電福島第一原発事故の経験等を反映するため、RC28と日本の専門家が下記の要領で意見交換を行います。

- ・ ICRUのChairやRC28メンバーによる報告書の概要説明
- ・ 日本の専門家による東電福島第一原発事故の経験の報告（出席者全員によるWorking lunchも予定）

参加ご希望の方は、ml-ICRU-workshop@gst.go.jp にご連絡ください。定員15名に対して、先着順での受付となります。（情報提供者 高橋理事）

○文部科学省 第8期研究費部会（第8回） 配付資料を公開
（科研費による挑戦的な研究に対する支援強化についてなど）

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gi_jyutu/gi_jyutu4/037/shiryo/1375827.htm

3. ニュースや社会の動き

○ICRP 2015 Annual Report をリリース（8月12日）

<http://www.icrp.org/docs/ICRP%20Annual%20Report%202015.pdf>

○日本RI協会 下限数量以下の非密封RI取扱マニュアル（非許可事業所向け）掲載（PDF）無料ダウンロード可

<http://www.jrias.or.jp/report/cat2/308.html>

○福島大学環境放射能研究所 IAEAと環境分野における研究協力に関する協定書を締結

<http://www.ier.fukushima-u.ac.jp>

4. これからのイベント

○日本財団 第5回福島国際専門家会議（9月26～27日、福島市 ホテル・ザ・セレクトン福島）

福島における甲状腺課題の解決に向けて～チェルノブイリ30周年の教訓を福島原発事故5年に活かす～

<http://www2.convention.co.jp/fukushima2016/index.html>

○特定非営利活動法人 放射線環境・安全カウンスル（RESC）第27回 放射線環境・安全に関する研究会「災害と人間を考える基礎として」（9月15日、名古屋市 市民活動推進センター会議室 ナディアパーク デザインセンタービル6階）

<http://www.res-council.jp/kenkyukai/kenkyukai160915.html>

○市民と科学者の放射線コミュニケーションネットワーク

知りたいこと、伝えたいこと～放射線被ばく影響の科学的考え方～（8月28日、大阪大学中之島センター佐治敬三メモリアルホール）
<http://networkofcs.xsrv.jp/citizenforum.html>

○NPO 安全安心科学アカデミー 保物セミナー2016（11月2日、大阪科学技術センター）
<http://anshin-kagaku.news.coocan.jp/hobutsu2016annai07271.pdf>

○日本アイソトープ協会 滝沢研究所施設一般公開（9月4日、日本アイソトープ協会 滝沢研究所）
<http://www.jrias.or.jp/seminar/cat6/takiken-koukai.html>

○日本アイソトープ協会平成28年度放射線安全取扱部会年次大会（11月10日～11日、鎌倉芸術館）
<http://www.jrias.or.jp/seminar/cat5/703.html>

○医療放射線防護連絡協議会 医療放射線管理講習会の開催
・京都会場 第61回（9月25日、島津製作所 本社研修センター）
http://jarpm.kenkyukai.jp/event/event_detail.asp?id=22022
・東京会場 第62回（11月12日、首都大学東京 荒川キャンパス講堂）
http://jarpm.kenkyukai.jp/event/event_detail.asp?id=22024

5. 公募情報、学生・ポスドク受入情報

○量子科学技術研究開発機構 福島再生支援本部環境動態研究チーム 博士研究員（任期制常勤職員）（応募締切：8月31日）
<http://www.qst.go.jp/information/itemid050-000490.html>

○量子科学技術研究開発機構 放射線障害治療研究部 体内除染研究チーム 任期制業務補助員（応募締切：9月14日）
<http://www.qst.go.jp/information/itemid050-000591.html>

○量子科学技術研究開発機構 放射線障害治療研究部放射線がん生物研究チーム 任期制業務補助員（応募締切：9月15日）
<http://www.qst.go.jp/information/itemid050-000597.html>

既発行の新Newsletterはこちらです。

<http://www.jhps.or.jp/newsletter/index.html>

新Newsletterにて発信を希望する情報をお持ちの方は、学会事務局へご連絡・お問い合わせください。

【発行】一般社団法人日本保健物理学会
【編集】同企画委員会

【発信元】 同学会事務局

TEL: 03-6205-4649 FAX: 03-6205-4659

E-mail: exec.off@jhps.or.jp
